

ミャンマー連邦共和国 マンダレー国際空港ターミナルビル屋根に遮熱塗料「エコクールマイルドSi」採用

ミャンマー連邦共和国のマンダレー国際空港ターミナルビルの屋根に、当社の遮熱塗料システムが採用されました。

屋根からのターミナルビル内部への日射による熱影響を軽減することを目的とした当社の遮熱塗装システムです。施工完了後には、塗膜調査および温度測定を実施し、エコクールを塗装した屋根と無塗装の屋根で遮熱効果の検証を行いました。検証は時期の影響を把握するために、雨季と乾季の2回に分けて実施しました。その結果、屋根表面で最大10℃、室内で3℃～6℃の遮熱効果が確認されました。

熱帯地域での大幅な遮熱効果の検証結果が得られたことから、今後は海外においても遮熱塗料による快適空間を提供し、エネルギー削減、さらには地球温暖化防止に貢献していきます。

塗装仕様

- ① 下塗り：エポオールスマイル 遮熱白
- ② 上塗り：エコクールマイルド Si (×2回)



マンダレー国際空港ターミナルビル内の広告看板(左下にDNTロゴ掲載)



マンダレー国際空港ターミナルビル外観(屋根に「エコクールマイルド Si」塗装)

小牧事業所「計量管理実施優良事業所」として 愛知県知事表彰受賞

2016年5月23日に開催された愛知県計量連合会総会において、当社の主力工場の一つである小牧事業所が「計量管理実施優良事業所」として、愛知県知事より表彰を受けました。

小牧事業所は1969年9月29日に愛知県適性計量管理事業所の指定を受け、この47年間、塗料製品の計量管理に携わり正確に実施してきました。特に、ここ数年は毎年複数人が適正計量管理主任者の講習を受講し、計量管理の維持向上に努めていることも評価されての表彰となりました。

今後も適正な計量管理を継続して実施していきます。



表彰を受ける小牧工場長

「神戸国際交流会館」外壁塗り替えに ローラー塗装メタリック工法が採用

2017年3月末日に外壁の塗り替えが完了した「神戸国際交流会館」に、当社の金属カーテンウォール改修向けのローラー塗装メタリック工法が採用されました。1981年の竣工時は、当社の「Vトップメタリック」が塗装されましたが、このたびの改修では、新製品の「Vフロン#200スマイルRBメタリック」が塗装され、新築時と同様の高輝度な美しい外観によみがえりました。

従来のメタリック塗装では、顔料を均一に配向させるためスプレー塗装が不可避であるうえ、高度かつ均一なスプレー技術や大掛かりな養生などが課題であったことから、大規模な改修は皆無でした。

今回当社が開発した同塗料は、ふっ素樹脂をバインダーにアルミ顔料を配合し、さらに顔料の配合量・粒径・分散性などを制御することによって、ローラー塗装でもスプレー塗装と同様な美しいメタリック外観が実現できる画期的な塗料です。さらに、同塗料のシルバー色に加え、シャンパン系メタリック色もご用意しています。

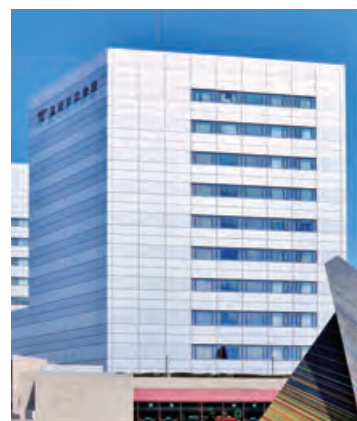
当社は今後、劣化した焼付塗装や陽極酸化皮膜処理された金属カーテンウォールの塗り替えが、ソリッド系塗色(単色)に限られていたため改修が停滞している市場に対し、ローラー塗装メタリック工法により需要を掘り起こし、伸展させていきます。



竣工時



塗り替え前



塗り替え後